

学会プログラム

第1日目（10月17日 金曜日：午後）

開会の挨拶（13：20～13：30）

一般演題 I-01～I-05（13：30～14：30）

座長 大谷 郁（金沢大学 医薬保健研究域 細菌感染症制御学）

I-01 *Campylobacter lari*における *msrA* 遺伝子数の検討

○松原京子、村山次哉
北陸大・薬・生命薬学

I-02 *Streptococcus mutans* バイオフィルムに対する植物由来抽出物の
検索

○坂上雄樹^{1,2}、土門久哲¹、小田真隆¹、興地隆史²、寺尾 豊¹
¹新潟大・院医歯・微生物感染症、²新潟大・院医歯・う蝕

I-03 *Streptococcus pyogenes* CAMP factor の免疫担当細胞に対する
病原性解析

○黒澤美絵^{1,2}、小田真隆¹、土門久哲¹、寺尾 豊¹
¹新潟大・院医歯・微生物感染症、²新潟大・院医歯・小児歯

I-04 多機能性糖脂質の自然免疫活性化メカニズムの解明

○小田真隆¹、山本博文²、黒澤美絵¹、土門久哲¹、寺尾 豊¹
¹新潟大・院医歯・微生物感染症、²徳島文理大・薬・薬品製造

I-05 慢性炎症性疾患における TLR シグナル抑制因子の解析

○土門久哲、坂上雄樹、小田真隆、寺尾 豊
新潟大・院医歯・微生物感染症

—— 休憩 15分間 ——

一般演題 I - 06 ~ I - 10 (14 : 45 ~ 15 : 45)

座長 寺尾 豊 (新潟大学 大学院医歯学総合研究科 微生物感染症学)

I-06 Rho グアニンヌクレオチド交換因子 FLJ00018 を介するシグナルによる MyD88 依存的 NF- κ B 活性化増強作用の分子機構解析

○中谷 悠、高橋圭太、所 俊志、井上直樹、杉山剛志
岐阜薬大・薬・感染制御

I-07 Rho グアニンヌクレオチド交換因子 Vsm-RhoGEF による TRIF 依存的シグナル増強活性

○西井さあら、長谷川拓也、所 俊志、井上直樹、杉山剛志
岐阜薬大・薬・感染制御

I-08 Shiga toxin2 を中和するモノクローナル抗体の作製及び性状解析

○有満秀幸、佐々木慶子、辻 孝雄
藤田保衛大・医・微生物

I-09 ニワトリ IgY 抗体を用いたメチシリン耐性黄色ブドウ球菌 MRSA の検出

○山田景子¹、金万春¹、岡本陽²、和知野純一¹、木村幸司¹、荒川宜親¹
¹名大院・医・分子病原細菌学、²愛教大・教育・養護教育

I-10 FISH 法を用いた *Helicobacter cinaedi* の食細胞内抵抗性の検討

○富田純子¹、鶴飼美帆¹、森田雄二¹、中西南帆²、三宅正紀²、河村好章¹
¹愛知学院大・薬・微生物学、²静岡県立大・薬・免疫微生物学

—— 休憩 15 分間 ——

特別講演 (16 : 00 ~ 17 : 00)

「急性細菌感染における好中球-単球間のクロストークにおけるケモカインの役割」

向田 直史 先生

(金沢大学 がん進展制御研究所 分子生体応答研究分野)

座長 村山 次哉 (北陸大学 薬学部 生命薬学)

———— バス 移動 ————

情報交換会 湯涌温泉 かなや 宴会場

第2日目 (10月18日 土曜日：午前)

一般演題 II-01 ~ II-03 (9:30 ~ 10:06)

座長 本間 道夫 (名古屋大学 大学院理学研究科 生命理学)

II-01 肺炎患者より検出された *Klebsiella pneumoniae* の分子疫学的解析

○伊藤亮太¹、進藤有一郎¹、小林大介¹、安藤昌彦²、金万春³、和知野純一³、山田景子³、木村幸司³、八木哲也⁴、長谷川好規¹、荒川宜親³

¹名古屋大学医学部附属病院呼吸器内科、²名古屋大学医学部附属病院先端医療・臨床研究支援センター、³名古屋大学大学院医学系研究科分子病原細菌学/耐性菌制御学分野、⁴名古屋大学医学部附属病院中央感染制御部

II-02 ゲノム編集技術によるボツリヌスC型神経毒素低感受性細胞の作製

○塚本健太郎¹、尾関千賀子¹、幸田知子²、辻 孝雄¹

¹藤田保衛大・医・微生物、²大阪府大院・生命環境

II-03 *Serratia marcescens* より発見された新規プラスミド媒介性アミノ配糖体アセチル化酵素の解析

金万春、○和知野純一、山田景子、木村幸司、荒川宜親
名古屋大学大学院医学系研究科・分子病原細菌学

一般演題 II - 04 ~ II - 07 (10 : 06 ~ 10 : 54)

座長 荒川 宜親 (名古屋大学 大学院医学系研究科 分子病原細菌学)

II-04 大腸菌 MotB とビブリオ菌 PomB 固定子タンパク質のペリプラズム領域キメラ体を用いた機能解析

西野優紀、尾上靖宏、小嶋誠司、○西岡典子、本間道夫
名古屋大学・院理・生命理学

II-05 *Vibrio* 菌のべん毛本数の制御を行う FlhG に存在する ATP 結合モチーフの役割

○小野宏樹、高島明里、平田ひかる、本間道夫、小嶋誠司
名古屋大学・院理・生命理学

II-06 超好熱性細菌 *Aquifex aeolicus* のべん毛モーター固定子の機能とタンパク質精製

竹川宜宏、郷原瑞樹、小嶋誠司、○本間道夫
名古屋大学・院理・生命理学

II-07 *Citrobacter rodentium* 感染マウスにおける腸管粘膜免疫の検討

○葛西康平、松西 優、渡邊詩織、所 俊志、杉山剛志、井上直樹
岐阜薬大・薬・感染制御

———— 休 憩 16 分間 ————

特別企画 (11 : 10 ~ 11 : 50)

日本細菌学会中部支部長 故清水徹先生を偲んで

「ウェルシュ菌研究に魅せられて ～雑草魂をもって～」

大谷 郁 先生、蒲田 勇介 先生、神末 真由 先生

(金沢大学 医薬保健研究域医学系 細菌感染症制御学)

座長 吉村 文信 (愛知学院大学 歯学部 微生物学)

—— 休 憩 10 分間 ——

第2日目 (10月18日 土曜日：午後)

評議委員会 (12:00~13:00)

総会 (13:00~13:15)

一般演題 II - 08 ~ II - 10 (13:15 ~ 13:51)

座長 河村 好章 (愛知学院大学 薬学部 微生物学)

II-08 肺 MAC 症患者由来、*Mycobacterium avium* が保有する新規
プラスミド

○打矢恵一¹、小川賢二²、二改俊章¹

¹名城大学・薬・微生物、²NHO 東名古屋病院・呼吸器内科

II-09 *Salmonella* Typhi 感染モデルにおけるガレクチン-9 の役割

○福永 肇¹、竹田和代²、Dennis Kopeck²、名取達矢¹、原 明³、
江崎孝行¹

¹岐阜大・病原体制御、²FDA /CBER、³岐阜大・腫瘍病理

II-10 The high-speed atomic force microscope as a tool for
examining living Gram-negative bacterial cells

○Zachery Oestreich¹, Azuma Taoka^{1,2}, and Yoshihiro Fukumori^{1,2}

¹College of Science and Engineering, Kanazawa University, ²Bio-AFM
Frontier Research Center, College of Science and Engineering,
Kanazawa University

—— 休憩 14分間 ——

一般演題 II - 11 ~ II - 13 (14 : 05 ~ 14 : 41)

座長 内手 昇 (北陸大学 薬学部 生命薬学)

II-11 インフルエンザウイルス感染による初代培養ヒト卵膜細胞における
マトリックスメタロプロテアーゼ遺伝子発現誘導

○内手 昇¹, 大山邦男², 武市 信³

¹北陸大・薬・生命薬学、²東薬大・薬学基礎教育推進センター、
³米山産婦人科病院

II-12 Scaffold ウイルス L 蛋白の役割

○姫田敏樹¹、大桑孝子¹、朝倉邦彦²、大原義朗¹

¹金沢医大・医・微生物、²藤田保健衛生大・医・神経内科

II-13 ヒトサイトメガロウイルスの初期-後期遺伝子 UL100 のウイルス複製
依存性転写機構の解明

○定成秀貴¹、松浦純児²、山田理恵²、村山次哉²

¹北陸大・薬・薬学基礎教育センター、²北陸大・薬・生命薬学

閉会式 (14 : 41 ~ 14 : 51)